

3 - 3 1977年6月の九十九里および勝浦沖の地震の群発について

Earthquake Swarm off Kujukuri-hama and Katsuura, Boso Peninsula in June,1977.

気象庁地震課, 地震活動検測センター
SAMC, Seismological Division, Japan Meteorological Agency

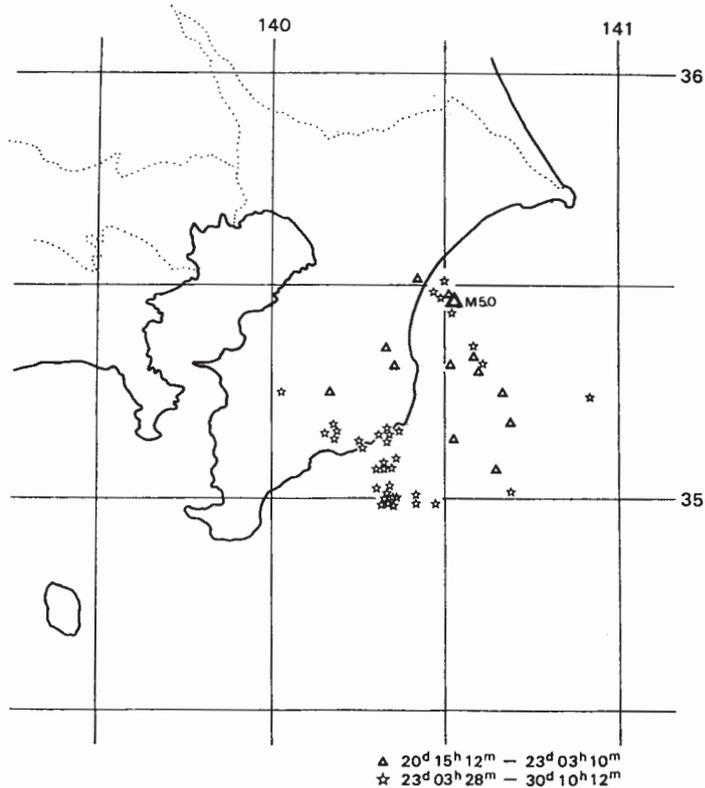
第1図は1977年6月20日から7月上旬にかけて、房総東方の九十九里および勝浦沖に発生した地震の震央分布図である。この地震活動の特徴は6月20日08時頃から九十九里沖で発生し始め、6月22日16時11分に今回の群発地震中の最大規模のものであるM5.0の地震が、東経140度32分、北緯35度27分、深さ40Kmに発生したが、6月23日03時28分の勝浦沖の地震（東経140度25分、北緯34度59分、深さ30Km, M4.4）から震源が移動して、その周辺にまよって発生するようになった。従って、九十九里沖の地震群と勝浦沖のそれとの間には地震の発生しない所がある。

また、今回の地震の発生に対しては、6月22日の16時11分の地震では銚子の体積歪計が伸びのステップ状の変化を、また6月23日03時28分の地震では第2図のように勝浦の歪計に縮みのステップ状の変化が観測された。そして地震群の震央が勝浦沖に移動して以後は、第2図のように勝浦の歪計が地震を伴わない前駆的なステップ状の変動を繰返し、6月24日から26日にかけての最盛期の活動に前駆したことは興味がある。（第3図）。

なお、房総東方沖は1973年から1974年にかけて群発地震があり、その活動が同地域としては異常的なものであることはすでに報告したが、今回の活動がこれに続くものであることは今後共注目してゆく必要がある。

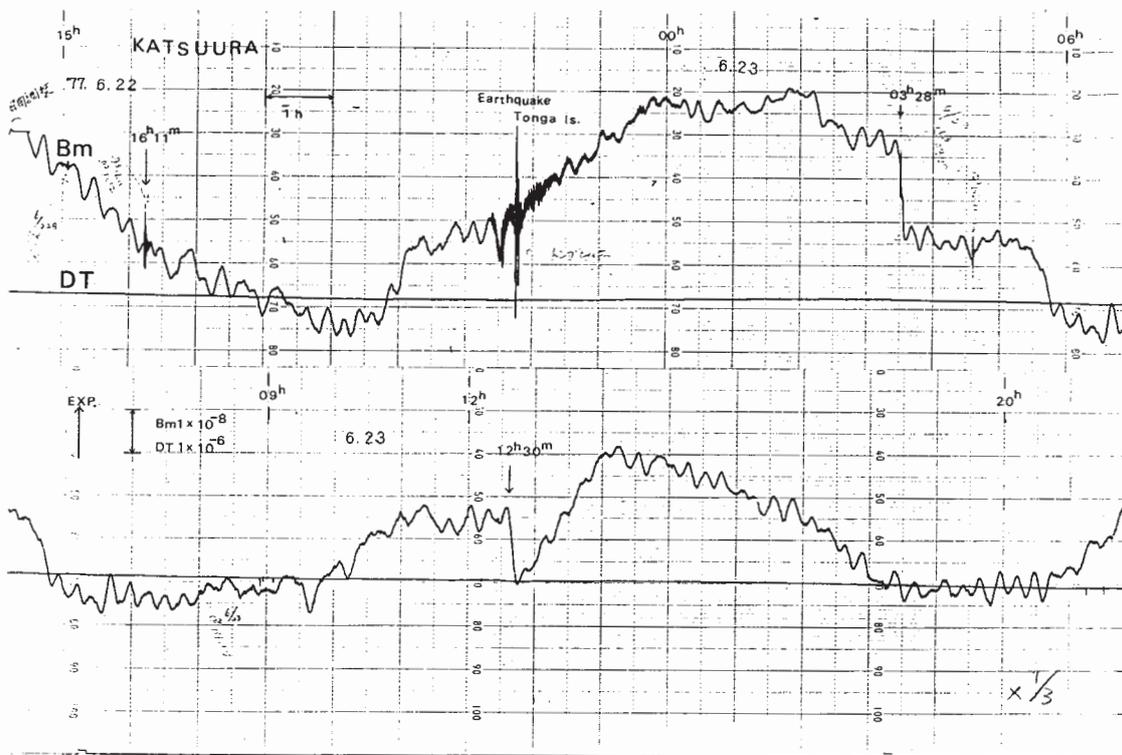
参 考 文 献

*気象庁地震課・地震活動検測センター：房総南方沖および南東沖の地震活動について、連絡会報16（1976），36 - 38.



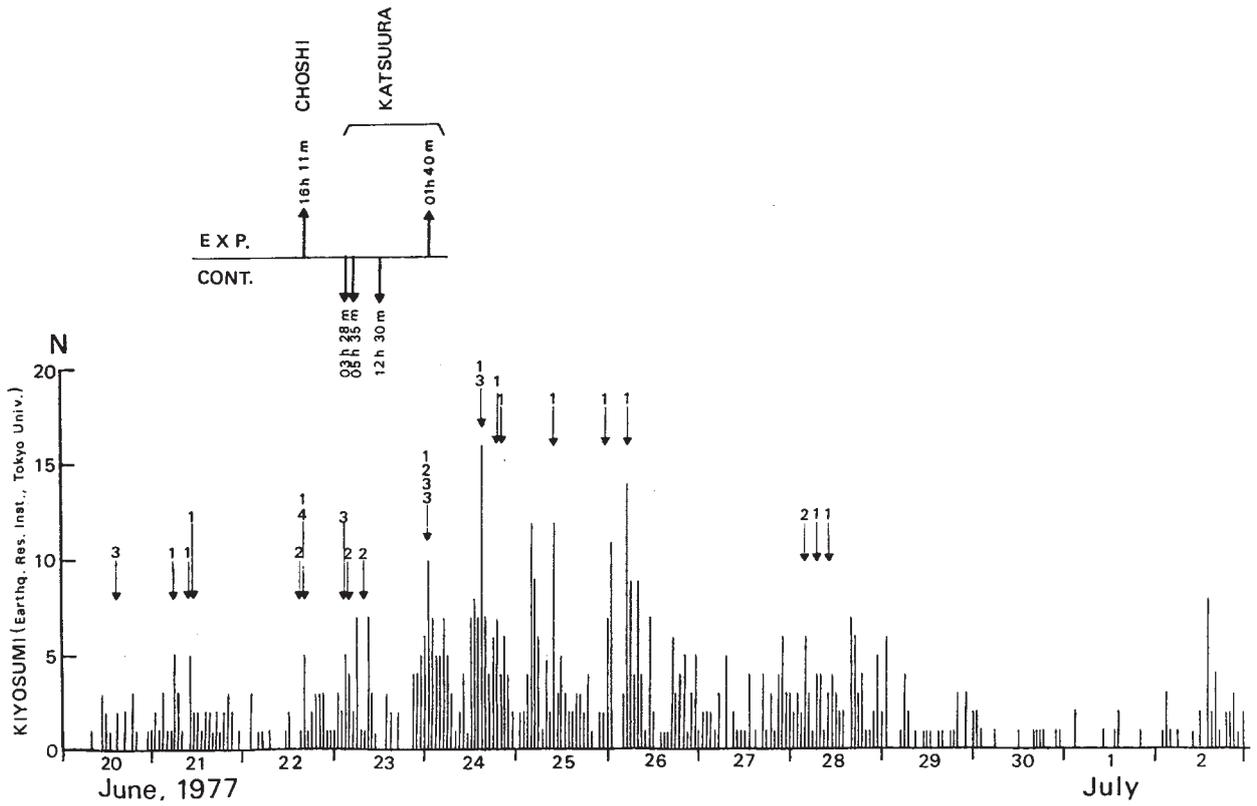
第1図 1977年6月の九十九里および勝浦沖の地震の震央分布図

Fig. 1 Epicentral distribution of earthquake swarm off Kujukuri-hama and Katsuura in June, 1977.



第2図 勝浦沖の地震の前に観測された勝浦における歪計の変化

Fig. 2 Strain change by the Borehole Strainmeter at Katsuura observed prior to earthquake off Katsuura.



第3図 勝浦付近の地震活動と勝浦および銚子における歪計の変化との間の関係（数字は最大震度を示す）。

Fig. 3 Relation between the seismic activities near Katsuura and the strain changes by the Borehole strainmeters at Katsuura and Choshi. Numeral shows the maximum intensity in kanto area.